

8・9月着工阻止「叩叩」の大結集へ

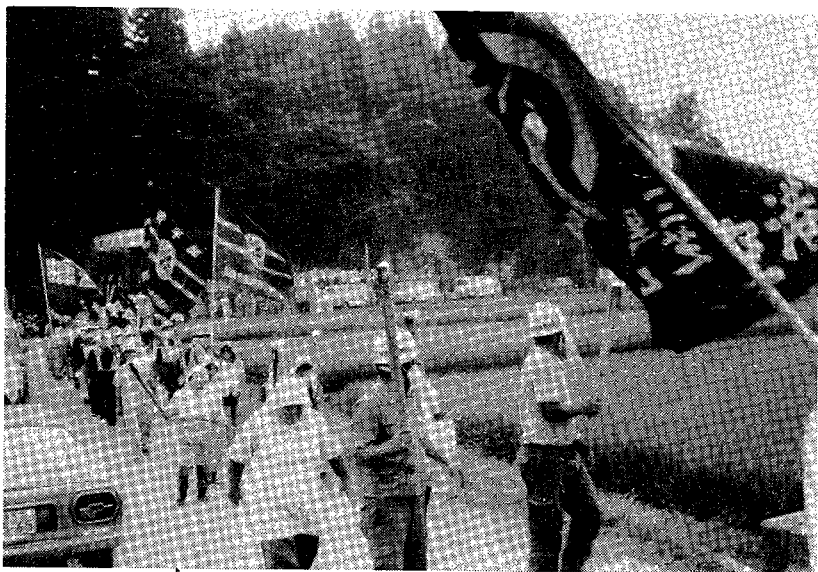
六・七月自主耕作地を防御し、用水着工攻撃を満を持して粉碎してきた確信にたつていよいよ切迫している用水攻撃にあくまでも闘いぬくための緊急夜間闘争を八月十二日、四〇〇名が結集するなかでかちとった。動労千葉からも青年部を先頭に駆けつけ、集会とタイマツデモをもって決意を固めてきた。

新藤副青年部長が力強く決意を表明

我が動労千葉が機動隊の検問を突き破り、天神橋に到着したときは集会も大きく盛りあがっており、青行隊の宮本君がガッシリとした体に力をみなぎらせて「困難をのりこえ、いかなる手段に訴えようとも用水攻撃を粉碎する」と訴えられ、夕暮れの菱田部落にその気迫がビンビン伝わっている。

動労千葉からは新藤副青年部長が、連帯のあいさつを送る。

彼は、まずこの間の闘いの勝利をがっちりとりえたらうで、「敵は『警備上ムリがあるので九月全斗煥が帰ったあと着工する』などと言っているが、やつらのダマシうちを断じて許さない。一つ事あらばただちに結集し反対同盟を守る。また、臨調―行革―国鉄攻撃の吹きすさぶ中、動労『本部』革マルは、国鉄当局・国家権力と結託し、三里塚―労農連帯の拠点支部である成田支部を破壊するために突如として『成田運転区を廃止せよ』などと言いだしてきている。われわれは、絶対にこんなことは許さない。あらゆる力を結集して必ずこの当局―革マル連合の陰謀を暴露し、こつぱみじんに粉碎することを明らかにする。こうした攻撃に対し、成田支部は臨時大会を開催し、反撃の態勢を強固に築いている。労働者の敵に転落してしまつた動労『本部』革マルを粉碎・一掃し、『10・10全国総決起集会』の成功のために奮闘しぬく」という力強い訴えに全参加者が熱い拍手で応えた。



夜空をこがす数百本の「タイマツ」デモへ

用水粉碎「監視大ヤグラ」建つ

反対同盟・青年行動隊から、住母家の萩原亀二氏宅に「用水監視大ヤグラ」が建つことが報告される。

反対同盟と支援の連日の決起を通して用水攻撃粉碎の態勢が着々と築かれうち固められている様が伝わるなか、全員で夜間「タイマツデモ」に移る。数百本の「タイマツ」のデモは壮観だ。

正義の炎よ、反動機動隊・公団・裏切り者どもを焼きつくせ！ わき上るシュプレヒコールの中で、数百本の怒りの炎は赤々と暗やみの村を照らした。

延々と続く「タイマツ」デモに、家々からは、おじいちゃんや子供たちも門まで出での拍手である。逆に、用水賛成派は雨戸を閉め、部屋の電気までも消してヒソソリ閉じこもっている。

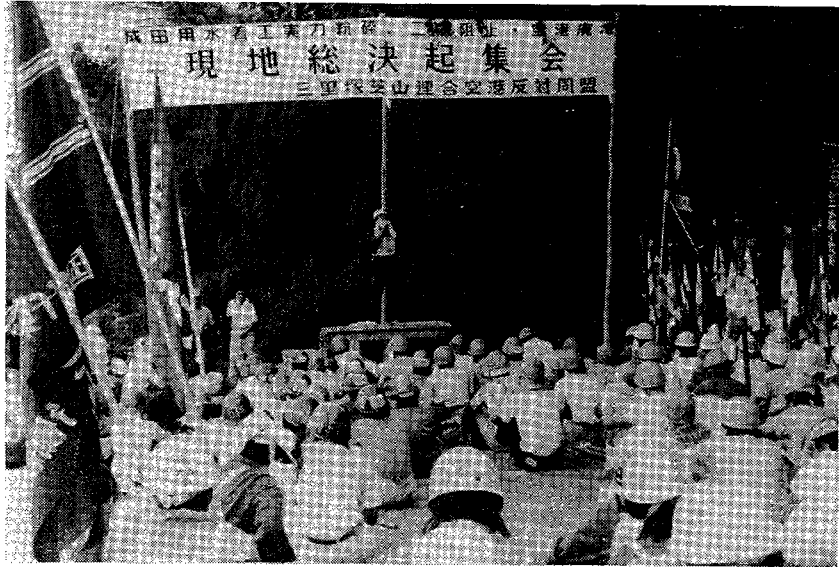
機動隊も暗やみの中で、おじけついている。

われわれは、反対同盟を先頭に意気揚々とデモを貫徹し、空港絶対反対Ⅱ二期実力阻止、話し合い策動粉碎、用水実力阻止の初志貫徹と「10・10集会」への空前の大結集を誓いあって、成功裡に闘争を終了した。

派遣団・丁生報告

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

公団・機動隊の「盆前着工策動」を粉碎 成田用水許すな！ 自主耕作地守れ！ 意高く前進する同盟と支援



動労千葉を代表して決意を表明する新藤副青年部長